

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと 2017 10月号



近畿ブロック合同災害救護訓練



ハイゼックス炊飯を体験

特集 災害からいのちを守るために

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

 日本赤十字社 京都府支部
Japanese Red Cross Society

災害からいのちを守るために

本年も7月の九州北部や秋田県の豪雨、9月には京都府内でも大きな災害が発生した台風18号と自然災害が頻発しています。日頃から「防災」に取り組み、災害の被害を少しでも減らすため、各家庭や地域で対策について話し合いましょう。

☑各家庭で事前の備えを確認しましょう

①耐震診断を受けましょう

→昭和56年5月31日以前の木造建築は、まず耐震診断について市町村に相談しましょう。また、すべての住宅で家具や電化製品等の転倒防止対策を行いましょ。

②緊急時の連絡方法を決めておきましょう

→災害時には電話が繋がりにくくなることから、各電話会社の災害時伝言ダイヤル（例NTT:171番）や災害用掲示板サービスを利用しましょう。

③備蓄は3日分（大規模災害に備えて7日分が望ましい）を準備しましょう

→水だけでも一人一日3ℓ 必要です。飲食物等は「ローリングストック」（日常的に使うものをストックし、順次補充）することが有効です。

④緊急持ち出し品をチェックしましょう

→リュック等は家族一人ひとりが迅速に避難できるサイズ・重さにすることが大切です。（健康保険証などはコピーを用意しましょう）

<緊急持ち出し品チェックリスト例> 家族と話し合いながら、チェックリストを活用して災害に備えましょう

- | | | |
|--|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 現金（小銭を含む：公衆電話用） | <input type="checkbox"/> 非常食、飲料水 | <input type="checkbox"/> ビニール袋、給水袋 |
| <input type="checkbox"/> 印鑑、身分証明書 | <input type="checkbox"/> ヘルメット、笛、ブザー | <input type="checkbox"/> 簡易・携帯トイレ、トイレトーパー |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証、お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ、毛布 | <input type="checkbox"/> 救急セット、常備薬 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器を含む） | <input type="checkbox"/> 軍手、マスク、スリッパ | <input type="checkbox"/> 着替え（下着を含む） |
| <input type="checkbox"/> ラジオ、懐中電灯 | <input type="checkbox"/> マッチ、ライター | <input type="checkbox"/> 生理用品、歯磨きセット |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具 | <input type="checkbox"/> 雨具、タオル | <input type="checkbox"/> 家族の写真（捜索用） |



☑各地域で避難計画を作成しましょう

地域事情に精通した住民の皆さんで、各市町村が作成したハザードマップ（被害予測図・防災地図）をもとに災害毎の避難ルートや避難場所などを検証し、実態に即した地域避難計画を作成することが最も効果的です。また、支援が必要な方の避難についても考慮し、地域全体で避難計画を共有することが大切です。

☑一言メモ

①避難行動の状況によって、避難先は異なります

→避難場所：切迫した災害から命を守る場所（公園等）

避難所：一定期間避難生活をする場所（体育館等）

垂直避難：内水被害で外に逃げるのが危険な場合は、予想水深を踏まえて2階等に避難（河川堤防付近の家屋は、水流で流される恐れがあるため早期に水平避難）

土砂災害で外に逃げるのが困難な場合は、山と反対側の2階に避難

②市町村から出される避難情報の種類は次のとおりです

→避難指示（緊急）：危険が目前に逼迫し、避難させるための行為

避難勧告：避難を勧め促す行為

避難準備・高齢者等避難開始：避難時間を要する要配慮者は避難行動開始、それ以外の方は避難準備を開始

日本赤十字社京都府支部では、災害に対応するためさまざまな取り組みを行っています。今回は3つの活動をご紹介します。

～子どもたちに命の大切さを伝えていきます～「防災教育プログラム」



↑防災について学ぶことは命の大切さを知ることです

青少年赤十字（JRC）では、態度目標「気づき、考え、実行する」を用いた防災教育を行っています。

この「いのちの授業」では、未来を担う子どもたちが災害の正しい知識を身につけ、自分の命を守る力をつけること、地域・家庭での防災意識を高め、周りの人を救うことに繋がるよう目指しています。

防災について学んだ子供たちからは、「いつ地震が起こるか分からないので準備しておく。」「自分の命を守る。守れたら他の人の命も守る。」などの感想がありました。

～皆さんも受講しませんか～「赤十字地域防災セミナー」

災害時には、安全のため避難所で生活することがあります。

しかし、避難所の慣れない環境のなかで過ごすことは、大変なストレスとなります。特に配慮が必要となる高齢者はなおさらのことです。

そんな避難所生活の中で高齢者を支えるために役立つ知識や技術を、高齢者の方で自身をはじめ、ご家族の方や地域のみなさんと、このセミナーを通して身につけてみませんか？（お問い合わせ：京都府支部 事業推進課 TEL 075-541-9326）



↑毛布を使ったガウンで保温

～災害時にも温かい食事を～「炊き出し用可動式大釜」



↑南区役所での贈呈式

京都府支部では、災害時に活用できる炊き出し用可動式大釜を京都府各地に配備中です。この大釜は災害時に対応できるよう廃材なども薪として使用できます。奉仕団員からは「大釜を使った炊き出しの経験は無いが、これから皆で練習して、災害時などいつでも炊き出しができるよう、地域のイベントなどでも活用していきたい」との声が聞こえました。

☑一言メモ

ハイゼックス袋は1959年の伊勢湾台風時に炊き出しのおにぎりで発生した食中毒がきっかけとなり開発されました。袋に入れて炊き出しを行うことで、配布時など人の手を介する場合でも衛生状態が保たれます。



☑「ハイゼックス炊飯」で料理にチャレンジ！

「ハイゼックス」とは引張強度や耐熱性等に優れた高密度ポリエチレンの事です。赤十字ではこの素材の袋を非常用炊出し袋として活用しています。

ハイゼックス袋にコメ100cc・水120ccを入れ、輪ゴムで口をしぼり、沸騰したお湯に入れて30分程度茹でれば完成です。袋内の水は清潔である必要がありますが、袋外の水は風呂やプールの水で良いことから、災害時に水が不足する場合でもコメを炊くことができます。

京都府支部からの お知らせ



↑レッドライトアップされた京都府庁旧本館

赤十字運動月間キャンペーンを展開

日本赤十字社は5月を赤十字運動月間として、活動をお伝えするさまざまなキャンペーンを展開しています。

京都府支部では、七条通に設置されている街灯に赤十字フラッグを掲揚したほか、京都府庁旧本館や元離宮二条城東南櫓などの名跡を5月8日の世界赤十字デーに合わせて赤くライトアップしました。また、5月14日には、京都駅地下街ポルタ内のポルタプラザで「ひろげよう赤十字の輪（和）2017」を開催。防災学習ソングの披露や地域防災セミナー、健康相談コーナー等のブースを設置し、多くの方に赤十字の活動を伝えることができました。



↑本番さながらの救護活動を実施

総勢570名参加 大規模災害救護訓練を実施

6月17日に近畿2府4県の支部合同による災害救護訓練を京都府立丹波自然運動公園で実施し、約570名の医師や看護師・ボランティア等が集結しました。

訓練では京都府南丹地域に直下型地震が発生したとの想定のもと、救護所本部・避難所巡回・仮設診療所など5つのブースに分かれ、実践に即した救護活動を想定し、それぞれの現場に必要な知識や技術を学び、大規模災害に備えました。

“気づき、考え、実行する”を学ぶトレーニングセンターを開催

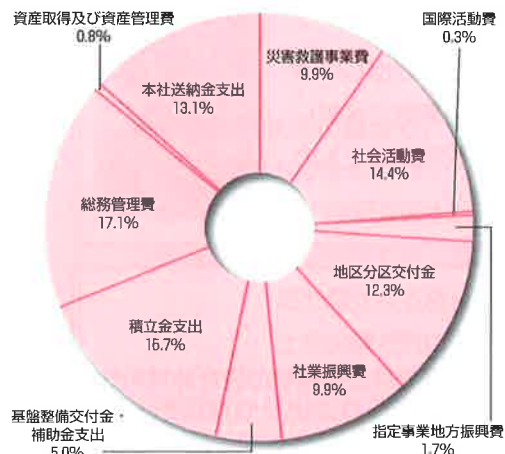


↑子供たちの自主性を育み、命の大切さを学びました

毎年恒例の京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターをアクトパル宇治において8月5日～7日の日程で開催しました。参加したのは京都の小中高生110人。自主性とリーダーシップを高めることを目的に、ボランティア活動などを学びました。

参加した小学6年生の女の子は「献血や災害の勉強をして、知らないことが多くて驚きました。私たちにも出来ることを考えたい。」と話してくれました。

平成28年度 京都府支部 活動資金の活用状況



	決算額 (千円)	内 訳
災害救護事業費	35,619	救護用資機材等の整備、救護看護師の指導養成等
社会活動費	52,150	救急法・水上安全法・幼児安全法等講習会の開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費等
国際活動費	1,000	国際開発協力事業に係る経費
指定事業地方振興費	6,000	災害救護設備の整備に係る経費
地区区分交付金	44,289	地区区分への事務費及び事業費の交付金
社業振興費	35,760	会員募集及び登録や広報活動に係る経費
基盤整備交付金・補助金支出	18,128	医療施設や血液センターの基盤設備のための交付金
積立金支出	56,740	施設整備準備資金積立金、事業準備積立金など
総務管理費	61,742	光熱費、事務費など
資産取得及び資産管理費	2,811	庁舎の維持管理費など
本社送納金支出	47,198	本社の国内・国際活動に係る経費
支出合計	361,437	